

地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案外三件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

地方鐵道及軌道ニ於ケル納付金等ニ關スル法律案(政府提出)(第二二號) 鐵道抵當法中改正法律案(政府提出)(第一三號)

日本通運株式會社法中改正法律案(政府提出)(第一四號) 郵便法中改正法律案(政府提出)(第一五號)

昭和二十年一月二十四日(水曜日)午前十時十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 橫川 重次君 理事宇田 耕一君 理事勝又 春一君 理事野口 喜一君

赤松 寅七君 石田 善佐君 大島 高精君 大島 寅吉君 大野 一造君 大橋清太郎君 岡本傳之助君 木原 七郎君 小林鐵太郎君 中川 重春君 藤井伊右衛門君 藤生安太郎君 山野 平一君 吉田 賢一君 出席國務大臣左ノ如シ

出席國務大臣左ノ如シ 運輸通信大臣 前田 米藏君 出府政府委員左ノ如シ

運輸通信政務次官 前田房之助君 運輸通信參與官 南條 德男君 運輸通信省企畫局長 鈴木 恭一君 運輸通信省鐵道總局長 堀木 謙三君 運輸通信省海運總局長 小野 猛君 運輸通信省海運總務局長 有田 喜一君 運輸通信省海運總務局長 福原 敬次君

運輸通信省海運總局長 福原 敬次君

Table with 3 columns: Position (e.g., 運輸通信省海運總局長), Name (e.g., 瀧山 敏夫君), and another Name (e.g., 白石 萬隆君).

由ニ基カズシテ、國有鐵道ノ運賃トノ權衡ヲ圖ル爲メ、其ノ他戰時施策ニ依ツテ運賃ノ引上ヲ致スコトガアリマス、此ノ場合之ニ因ル増収利益ハ其ノ増收ノ原因ヨリ見テ、之ヲ其ノ會社ノ所得ニ歸屬セシメズ、一定ノ基準ニ依ツテ政府ニ納付致サセマスト共ニ、之ヲ財源トシテ戰時ニ於ケル地方鐵道、又ハ軌道ノ輸送力ノ確保増強ヲ圖ル等ノ爲メ必要ナル補助金等及ビ臨時軍事費特別會計ヘノ繰入金ニ充用スルコトガ戰時下最モ適切ナル措置ト考ヘマシテ、本法案ヲ提出スルコトニ致シテ次第デアリマス。

次ニ法案ノ骨子ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、先ツ第一ニ納付金決定ノ基準ハ勅令ヲ以テ定メルコトト致シタリデアリマスガ、其ノ要領ハ運賃ノ變更ニ因ル収入増加額カラ營業費增加額等ヲ控除シテ殘額ヲ納付サセルノデアリマス、但シ收益率ノ低イモノヤ、運賃引上前ヨリモ收益率ノ下ツタモノカラハ、納付サセナイコトト致シタリト考ヘテ居リマス。

第二ニ納付金ノ會計整理ニ付キマシテハ、帝國鐵道會計ニ於テ資本勘定ノ特別ノ資金トシテ、他ノ收支トハ混同シナイヤウニ致シタリト考ヘテ居リマスガ、此ノ納付金ノ使途ハ地方鐵道及ビ軌道ノ戰時輸送力ノ確保増強ヲ圖ル等ノ爲メ、必要ナ經費ト臨時軍事費特別會計ヘノ繰入金ニ充用スルコトニ限定致シタリト存ジテ居リマス、尙ホ將來此ノ資金ノ收支ニ不均衡ヲ來シマシテ、財源ニ不足ヲ來ス場合モ考ヘラレマス。

行スルコトハ殆ソド、困難ナ實情ニアルノデアリマスガ、現在日本通運株式會社ノ發行スル社債ニ對スル政府ノ元利支拂保證ノ限度ハ二千萬圓トナツテ居リマシテ、既ニ一千萬圓ハ發行済デアリ、近ク残りノ一千萬圓モ發行スル豫定ニナツテ居リマスノデ、コノ制限ヲ除キマシテ、本會社ノ發行スル社債ノ全額ニ付キ政府ニ於テ其ノ元利支拂ノ保證ヲ爲シ得ルコトトシ、以テ小運送力ノ急速増強ニ必要ナル事業資金ノ調達ヲ圓滑ナラシメタク本法律案ヲ提出シタ次第デアリマス

最後ニ郵便法中改正法案律ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、此ノ改正法案案ハ、郵便法ニ規定セラレテ居リマス普通通常郵便物ノ料金ヲ改正セントスルモノデアリマシテ、是ガ改正ノ理由ニ付キマシテハ、曩ニ本會議ニ於テモ説明申上ゲマシタガ、決戦下重要ナル郵便事業ノ圓滑ナル運行ヲ維持スル上ニ新ナル財源ヲ必要トスルニ立至ツタノミナラズ、國庫收入ノ増加ニ依リ戰時財政ノ強化ヲ圖ル必要ガ更ニ加ハツテ參ツタ爲メデアリマス、仍テ今回郵便料金ノ改正ヲ行ヒ、之ニ依ツテ生ズル増収額ヲ右ノ必要財源ニ充當セントスルモノデアリマス

今回ノ改正料金額ノ決定ニ當リマシテハ、郵便ハ戰時下ニ於ケル國民ノ日常生活ト密接ナル關係ヲ有スル點ニ鑑ミマシテ、引上割合ハ可及的少ナカラシメルヤウ考慮致シマスト共ニ、料金ノ種類段階ヲ單純化シテ、取扱ノ簡易化ヲ圖リ、併セテ切手ノ種類ヲ整理シ、切手調達ノ能率ヲ高メルコトト致シタメデアリマス、即チ料金改正ノ内容ハ、御手許ニ差上ゲテ居リマス參考資料ニアリマスヤウニ、第一種有封書狀七錢ヲ十錢ニ、第

昭和二十年一月二十五日印刷

二種通常葉書三錢ヲ五錢ニ、第三種定期刊行物二錢ヲ五錢ニ、第四種書籍、印刷物等六錢ヲ十錢ニ改メ、大部分ノ單位料金ヲ五錢、十錢ノ二種ニ整理ノコトトシ、第五種農産物種子ニ付キマシテハ例外的ニ低料三錢ト致シマシタノデアリマス、之ニ伴ヒマシテ現在發行中ノ十錢以下ノ郵便切手九種類ヲ三種類ニ整理致シタイト考ヘテ居リマス

尙此ノ外ニ、運輸通信省令ヲ以テ規定セラレテ居マス所ノ小包郵便料金ト特殊取扱料金ニ付キマシテモ、同様ノ趣旨ヲ以テ引上ヲ行フ考ヘデアリマス

以上ノ料金改正ニ因ツテ得ラレマス昭和二十年年度増収額ハ、本案ニ依リマス普通通常郵便物料金ニ付キマシテハ、大體四千六百五十萬圓、又小包郵便料金ニ付キマシテハ、千五百五十萬圓、特殊取扱料金ニ付キマシテハ、一千萬圓、合計六千八百萬圓ノ見込デ、全體ヲ通ジテ約二割四分ノ増収ト相成ル豫定デアリマス、以上甚ダ簡單デハアリマスガ、改正ノ要旨ヲ申上ゲマシタ次第デアリマス、何卒四法案ニ付キ宜シク御審議ヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

○横川委員長 此ノ際政府ニ申上ゲマス、參考資料デ御提出ニナルベキモノハ成ベク早く御提出戴キタイト思ヒマス、ソレカラ委員諸君ニ申上ゲマスガ、委員諸君中特ニ參考資料ノ御要求ノ向キガゴザイマシタラ理事宛ニ御申出ヲ願ヒマシテ然ルベク取計ヒタイト存ジマス、直チニ質疑ニ入りマス

○野口委員 決戦下ノ軍需生産ニ伴ヒマスル輸送ト、國內外ノ通信ノ重要性ヲ含ム複雑化竝ニ國民生活、特ニ輸送第一主義トナリツ、アリマスル現狀ニ鑑ミマシテ、全ク運輸及ビ通信行政コソ大東亞戰爭ノ勝敗ヲ左右スル最大重要

ノ政治デアルト思フノデアリマス、前線ニ、國內ニ洵ニ重大ナル影響ヲ生ズルモノハ運輸及ビ通信行政デアルト存ジマス、茲ニ運輸通信關係ノ本委員會ヲ開會スルニ當リマシテ、其ノ議事ノ進行上、審議ノ爲メ一般問題ニ關シ、特ニ重要ト思ハル、左ノ三點ヲ御質問申上ゲタイト存ジマス、一、敵ノ謀略放送ニ對スル現在ノ狀況竝ニ其ノ對策如何、二、空襲、地震及ビ雪害ノ被害狀況竝ニ其ノ復舊對策如何、三、船舶建造ノ進捗狀況及ビ海上損耗竝ニ船舶運營ノ實情如何、此ノ三點ヲ御質問申上ゲルノデアリマス、政府ニ於カレマシテハ、出來得ル限り十分ナル御發表ヲ御要求申上ゲマス

○横川委員長 之ニ關シマシテ政府ヨリ機密ニ互ルベキ點ガアリ得ルコトデアリマスカラ、秘密會ノ要求ガアリマス、秘密會トスルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

○横川委員長 御異議ナケレバ直チニ秘密會ニ入りマス、議員及ビ關係政府委員以外ノ方ノ退場ヲ求メマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

午前十時二十八分秘密會ニ入ル
午後一時四分秘密會ヲ終ル

○横川委員長 秘密會ニ於キマシテハ、野口委員ノ御質問ニ依リマスル所ノ敵ノ謀略放送ニ關シ、又空襲竝ニ地震、雪害等ニ對スル被害ノ狀況、竝ニ是ガ復舊狀況乃至ハ是ガ對策、更ニ船舶ノ運營ノ狀況、船舶建造ノ狀況等ニ付キマシテ、當局ヨリソレハ詳細ナル説明ガアツタノデアリマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シタイト思ヒマス——ソレ

デハ是デ散會致シマス

午後二時二十一分散會

衆議院事務局